



門川町教育研究所では、子ども一人一人の確かな学力の向上をめざして、教育研究や情報発信を行っています。今回は、2月6日（日）に行われた、「門川町PTA研修大会」での教育研究所の発表の様子と、子育ての工夫として、『門川の子どもたちの学力を高めるために』という内容にしました。是非、お役立てください。

門川町PTA研修大会

* 今回は、PTA研修大会での教育研究所の発表の様子を紹介します。学校や教育研究所の取組の様子を発表しました。

門川町教育研究所の発表

研究員を代表して、門川中学校の酒匂先生が発表しました。

- 学力を高める授業の工夫
- ドリル学習の工夫
- 学校や家庭への情報発信

について、学校や教育研究所が力を合わせて学力向上に取り組んでいる様子を紹介しました。また、家庭でも学校と力を合わせて学力向上に取り組むことが大切です、と訴えました。

西門川中学校の長友研究主任を中心に、各学校の研究員が力を合わせて一つになり、今年度1年間積み重ねてきた研究成果を、しっかり発表することができました。



上は、熱心に発表する門川町教育研究所の研究員です。
下は、開会行事のようすです。

CRT検査が実施されました。

CRT検査は、今年1年間の学習がどこまで定着しているかを調べるものです。

門川町の子どもたちの学力向上をめざして、1月下旬に町内の各学校で国語・算数（数学）のCRT検査（学習到達度検査）が実施されました。調査の結果がわかり次第、学校からの説明や個人票（個人の検査結果）の配布などがあります。

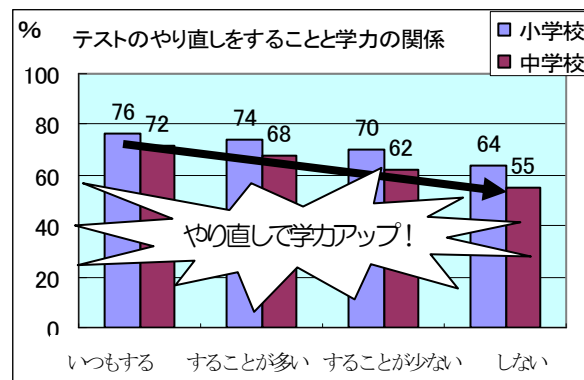
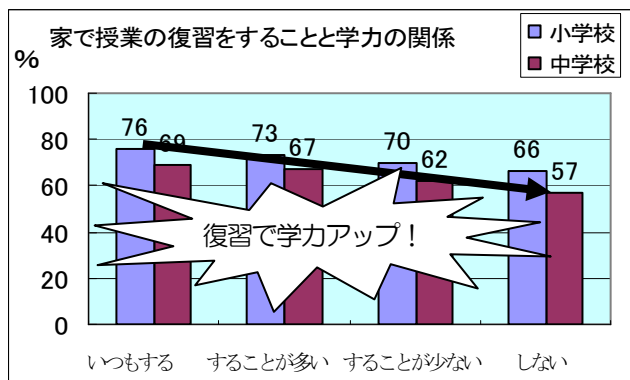
この学習到達度検査では、今年1年間子どもの学習がどこまで達成できているか、ということがわかります。渡された個人票をもとに、子どもの学力のようすをしっかりとつかんでいただきたいと思います。また、さらにくわしいことや、どこをどのようにがんばればよいかなどについては、担任の先生と連絡を取り、学校と力を合わせてこれからの学習指導を行ってほしいと思います。

門川の子どもたちの学力を高めるために 末は、授業の復習やテストなどのやり直しに力をいれましょう！

H22年度
 全国学力・学習状
 況調査の結果から

各種学力調査の結果、授業の復習をすることと学力との間には、大きな関係があることがわかっています。学年末は、1年間の復習やテストのやり直しをして、進学や進級にそなえましょう。また、これまでに使った教科書やノートなども活用して、1年間の復習に力入れましょう。

授業の復習をすることやテストのやり直しすることと学力との間には、深い関係があります！



授業の復習を「いつもする」と答えた子どもは、「しない」と答えた子どもより、約10～12%学力が高くなっています。

授業で一度習っただけでは、知識や技能をしっかりと身につけることができません。繰り返し練習、復習することで、はじめて生きて使えるようになります。これを「習熟する」といいます。しっかり習熟することで、はじめて活用することができるようになります。そのための復習に力を入れましょう。

テストのやり直しを「いつもする」と答えた子どもは、「しない」と答えた子どもより、約12～17%学力が高くなっています。

テストの間違いをやり直し、それを何回も繰り返し練習して身につけてこそ、「わかるようになった」、「できるようになった」という実感がわいてきます。

できなかったことをそのままにせず、もう一度しっかりとやり直しましょう。そのためには、テストのやり直しが一番の近道です。

教育研究所からのメッセージ

今月は、学年末をひかえて、「これまでの学習の復習やテストのやり直しなどに力を入れましょう」という内容です。特に、この1年間でできなかった問題や苦手な勉強を中心に取り組み、新学年を迎える準備をしましょう。新しい学年では、前の学年の学習はわかっているものとして授業が進められることがよくあります。これまでの学習を積み残しせず、しっかり身につけてから、新学年を迎えましょう。ゆとりをもって4月を迎えるための準備をしましょう。

お父さん・お母さん子育てで悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
 教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
 63-1566

~~~~~キリトリセン~~~~~  
 \* ご意見やご感想がありましたらお寄せください。（担任まで）